



「宵ひ待ち草が見た夢」

# 小林美恵

小林美恵 東欧&アジアを弾く

華麗なるヴァイオリンの伝説

第6回 最終回

©Akira Muto

その甘美な音色は、天使の歌声か？ 悪魔のささやきか？  
人の手によるもっとも完璧な楽器といわれる「ヴァイオリン」。  
科学も最新テクノロジーも寄せ付けない、  
その神秘の世界に日本が誇るヴァイオリニスト、小林美恵が挑む！  
作家・文化芸術プロデューサーの浦久俊彦をパートナーに  
歴史・アート・社会など、これまでにない多彩な角度から  
ヴァイオリンの神秘と魅力を徹底解剖！  
ヴァイオリンファンから、クラシック音楽の初心者まで誰もが楽しめる、  
新時代のトーク&コンサートです。

2021

10.31 (日)

14:00開演 (13:15開場)

Hakuju Hall

入場料 全席指定 5,000円(税込)

曲目 バルトーク：ヴァイオリンとピアノのための狂詩曲 第2番 BB 96a  
*Bartók: Rhapsody No.2 for Violin and Piano BB 96a*

ヤナーチェク：ヴァイオリン・ソナタ  
*Janáček: Violin Sonata*

エネスコ：ヴァイオリン・ソナタ 第3番イ短調 op.25  
「ルーマニア民俗風で」

*Enescu: Sonata for Violin and Piano No.3 in a minor op.25*  
"Dans le caractère populaire roumain" 他

出演

小林美恵 ヴァイオリン Mie Kobayashi, violin

ジャンミッシェル・キム ピアノ Jean-Michel Kim, piano

浦久俊彦 ナビゲーター Toshihiko Urahisa, navigator



# 小林美恵

華麗なるヴァイオリンの伝説

第6回  
～最終回～

## 「宵ひ待ち草が見た夢」

小林美恵 東欧&アジアを弾く

日本人で最初にヴァイオリンを聴いたのは誰だったのでしょうか？

キリスト教伝来の宣教師によって持ち込まれ、織田信長や豊臣秀吉も聴いたとも、またローマに渡った天正遣欧少年使節が、日本に楽器を持ち帰ったとの実話もあります。いったい彼らにはどのように聴こえたのでしょうか？ 弦楽器の歴史は古く、特に弓を使うのはアジアにルーツを持つといわれています。当然、日本でも胡弓や馬頭琴などを耳にする機会は身近にあったと推察します。でももし、鎖国をしていた江戸時代にヴァイオリンが独自の発展をしていたら……いやもっと前の時代、たとえばタイムマシンで縄文時代や石器時代の人々にヴァイオリンを渡したら、彼らはどういう音を出し、何を奏でるのかしら？ と空想します。

最終回では19世紀後半に起こった民族主義的な音楽を中心に、その素材として使われた、それぞれの地域社会で伝承された民謡、フォークロアの音楽(ヴァイオリンが重要な役割を担っていたと思われる)から見えてくる、人間の最も根源的な命の核をヴァイオリンで探したいと思います。

### 小林美恵

ヴァイオリンの神秘と魅力に迫る小林美恵の人気シリーズ「華麗なるヴァイオリンの伝説」第6弾！ テーマは、東欧とアジアです。このシリーズでは、ルネサンス後期のイタリアに誕生したヴァイオリンの歴史を、さまざまな国の作曲家からとりあげてきましたが、ヴァイオリンには、フィドルという民族楽器としてのもうひとつの顔があります。最終回となる今回は、東欧のエネスコなどの作曲家から日本の歌曲まで、小林美恵さんが奏でるエキゾチックな響きに耳を澄ませながら、はるか中国の唐の時代や、ヴァイオリンの祖先とされるアラビアのラバープまで、弓で弦を擦って音を出す擦弦楽器の歴史にも思いを馳せてみたいと思います。どうぞお楽しみに！

(作家・文化芸術プロデューサー) 浦久俊彦

#### シリーズ全内容

- 第1回 「ダ・ヴィンチの迷宮」 小林美恵 無伴奏の極みを弾く
- 第2回 「ヴェルサイユの光と影」 小林美恵 フランスを弾く
- 第3回 「ロマンの歓喜と狂気」 小林美恵 シューマンを弾く
- 第4回 「天使と悪魔」 小林美恵 イタリアを弾く
- 第5回 「クリムの幻影」 小林美恵 ウィーン世紀末を弾く
- 第6回 「宵ひ待ち草が見た夢」 小林美恵 東欧&アジアを弾く

## 小林美恵 ヴァイオリン Mie Kobayashi, violin



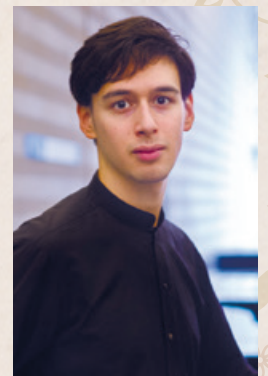
© Akira Muto

東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、同大学を首席で卒業。在学中に安宅賞、福島賞を受賞。1990年、ロン・ティボー国際コンクールヴァイオリン部門で日本人として初めて優勝。以来、日本を代表するヴァイオリニストとして活躍。国内外のオーケストラとの共演、リサイタル、室内楽等で充実した演奏を高く評価されている。2010年には、ロン・ティボー国際コンクールのヴァイオリン部門の審査員として招かれた。CDは、「プレイズ・クライスラー」、「J.S.バッハ:無伴奏ヴァイオリン・ソナタ&パルティータ(全曲)」等多数リリース。18年からHakuju Hallにてヴァイオリンの魅力に迫る全6回のリサイタルシリーズを行っており、21年10月で最終回を迎える。現在、昭和音楽大学客員教授。

公式ホームページ <http://miekobayashi.com/>

## ジャンミッシェル・キム ピアノ Jean-Michel Kim, piano

東京音楽大学付属音楽教室を経て、東京音楽大学付属高等学校ピアノ演奏家コースに学び、実技優等賞を得て卒業。その後パリ国立高等音楽院でピアノ科修士課程、室内楽科修士課程および歌曲伴奏科修士課程を修了。2018年から同校声楽科のアシスタントを務める。近年はフランス各地の音楽祭に出演、室内楽では小林美恵、ニコラ・バルデル、對馬佳祐と共演し好評を博している。第59回全日本学生音楽コンクール高校の部東京大会第3位、17年第11回ラニー国際ピアノコンクールで第1位、同年トゥールーズ国際フランス歌曲コンクールにて最優秀ピアニスト賞を受賞。19年、プロムジシス国際賞を受賞。



© Frederik Froument

## 浦久俊彦 ナビゲーター Toshihiko Urahisa, navigator

(作家・文化芸術プロデューサー)



© 新津保建秀

文筆家、文化芸術プロデューサー。一般財団欧州日本芸術財団代表理事、代官山未来音楽塾塾頭、サラマンカホール音楽監督、三島市文化アドバイザー。著書に『フランツ・リストはなぜ女たちを失神させたのか』、『悪魔と呼ばれたヴァイオリニスト』(以上、新潮社)、『138億年の音楽史』(講談社)など。2020年6月に『フランツ・リストはなぜ〜』の韓国語版『フランツ・リスト〜ピアニストの誕生』が、韓国で出版された。最新刊は『ベートーヴェンと日本人』(新潮社より2020年11月に刊行)。

公式ホームページ <http://www.urahisa.com>

#### チケット申し込み

Hakuju Hall チケットセンター  
03-5478-8700

11:00~17:00 (火~金 ※祝日・休館日を除く)

オンラインチケット予約

<https://www.hakujuhall.jp>

■ローソンチケット

<https://l-tike.com/>

■イープラス

<https://eplus.jp>



〒151-0063 東京都渋谷区富ヶ谷 1-37-5 TEL 03-5478-8867

(最寄駅) ●代々木公園駅(千代田線) 出口1より徒歩5分  
●代々木八幡駅(小田急線) 南口より徒歩5分

(バス) ●富ヶ谷バス停下車 徒歩1分  
●渋谷駅西口バスターミナルより10分  
渋谷63(中野行)、渋谷64(中野行)、渋谷66(阿佐ヶ谷行)、渋谷69(笹塚循環)

#### ご購入時の留意点

新型コロナウイルス感染症の状況に応じて、公演中止・延期および発売日が延期となる可能性がございます。また、感染症防止の観点から、座席配置や販売席数等、状況に応じた対応をとっております。そのため、座席指定のご希望に沿えない場合や公演当日に座席のご移動をお願いする場合がございます。予めご了承ください。

●最後列Q列はリクライニング席となります(チケット料金は変わりません)。  
●出演者・曲目・曲順等が変更になる場合がございますので、ご了承ください。  
●出演者・曲目の変更に伴うチケットの払い戻しはいたしません。  
●一度お求めいただいたチケットの変更、キャンセルはできません。  
●未就学児の入場はご遠慮ください。  
●車椅子でご来場のお客様は予めHakuju Hallまでご連絡ください。

#### ご来場のお客様へ

●ご来場に際しまして、Hakuju Hallホームページに掲載しております、Hakuju Hall 感染症予防への取り組み(Hakuju モデル)をご一読いただけますよう、お願いいたします。  
●ホールには駐車場はございません。

#### LINE 友だち追加はこちらから!

主催公演の先行発売をご利用いただけるほか、ホール情報をいち早くお届けいたします。

@hakujuhall



先行発売日  
2021年  
6月12日(土)

一般発売日  
2021年  
6月19日(土)